

授業科目 クリティカル・周手術期看護学演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
荒 木 玲 子、栗 原 弥 生		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 クリティカルケア・周手術期看護を行うために必要な知識と技術を学び、適切なケアを習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. クリティカル・周手術期の状態にある対象を理解する 2. クリティカルな状況にある対象に必要な援助を列記できる 3. クリティカルな状態にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する 4. 周手術期にある対象を理解し、必要な援助を体験する 5. 周手術期にある対象への援助の知識を生かし、実際の援助を体験する 6. 演習を通して、クリティカルケア・周手術期看護の実践を行う準備をする					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業オリエンテーション 術前看護に必要な知識			1	講義 荒木・栗原
2	術前看護に必要な技術			1.5	グループワーク 荒木・栗原
3	術前看護に必要な技術（術前オリエンテーションの実際）			4.5	演習 荒木・栗原
4	術前看護に必要な技術（呼吸練習、排痰法、体位変換など）			4.5	演習 荒木・栗原
5	術中看護に必要な技術（外科的手洗い法・ガウンテクニック・グローブテクニック）			4.5	演習 荒木・栗原
6	同上			4.5	演習 荒木・栗原
7	術後看護に必要な技術（病室の準備、術直後の観察と援助）			4.5	演習 荒木・栗原
8	術後看護に必要な技術（合併症予防のための援助技術）			4.5	演習 荒木・栗原
9	クリティカルな状況にある患者の観察			1.2	講義 栗原・荒木
10	クリティカルケアに必要な技術			1.3	演習 栗原・荒木
11	クリティカルな状況にある患者に必要な援助			2.3	講義 栗原・荒木
12	クリティカルケアに必要な技術（気管内挿管の介助、輸液ポンプ・シリンジポンプ）			2.3	演習 栗原・荒木
13	クリティカルな状況にある患者の理解（呼吸器装着時の看護、心不全患者の観察）			2.3	講義 栗原・荒木
14	クリティカルケアに必要な技術（気管内吸引、胃管挿入時の看護）			2.3	演習 栗原・荒木
15	まとめ			6	栗原・荒木
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 周手術期看護 1 2 3 竹内登美子 医歯薬出版 2000・各1890円			
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		周手術期看護論 救急看護論	雄西智恵美 山勢博彰	ヌーヴェルヒロカワ ヌーヴェルヒロカワ	2005・2,415円 2415・1,680円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験・レポート・出席で評価する			【履修上の留意点】		